

松代町書初展覧会特選

展覧会総出品点数

小学校児童の部 128点
 中学校生徒の部 53点
 一般の部(94名) 109点

報

広

ま

つ

だ

い

昭和51年2月10日発行
 第195号

新潟県松代町公民館

電話松代301番

印刷・松代印刷所

ととし

みやざわかずお

小学校第一学年
 みやざわかずお

松代小学校下山分校

テレビ

ちよこ

小学校第二学年
 宮沢 ちよ子

松代小学校下山分校

どろり

小塚聡子

小学校第三学年
 小塚 聡子

蒲生小学校

白山

斉木保子

小学校第四学年
 斉木 保子

室野小学校

雪の空

宮沢博

小学校第五学年
 宮沢 博

松代小学校下山分校

文花の光

鈴木径子

小学校第六学年
 鈴木 径子

松代小学校

山里の春

西潟弘明

小学校第一学年
 西潟 弘明

奴奈川中学校

太古の心

樋口美恵子

中学校第二学年
 樋口 美恵子

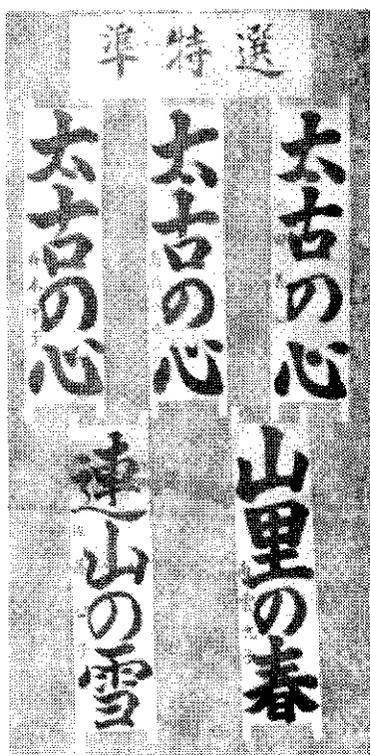
松代中学校

連山の雪

池田久美子

中学校第三学年
 池田 久美子

山平中学校



一般者の皆様と各学校の
ご協力を得て、町教育振
興会と公民館が主催し開
催した書初展覧会は、一
月十二日・十三日の二日

間にわたり盛大に終了致しました。
ご出品・設営にご協力くださ
いました方々に厚くお礼申し上げま
す。

みなな秀作……小・中学校作品
審査に一苦勞

ご出品ありがとうございました

昭和五十一年書初展覧会盛大に終る

は前頁のとおりで、特選
・準特選を表彰するほか、
出品作に対し奨励賞を授
与いたしました。また一

＜準特選作品＞ ↑

品者に
対して
も参加
賞を差
しあげ
ました。
準特選
は次の
とおり
です。

△中学校▽

- 一学年 南雲 元子 松代中
- 二学年 池田 善和 山平中
- 三学年 高橋さゆり 松代中
- 三学年 齊木 伸子 奴奈川中
- 三学年 佐藤 公子 "

- △小学校▽
- 一学年 小塚ひとし 蒲生小
 - 二学年 柳 政代 孟地小
 - 三学年 鈴木 祐嗣 松代小
 - 三学年 柳 泉 松代小
 - 四学年 宮沢 祥子 下山分
 - 四学年 宮沢恵美子 下山分
 - 五学年 柳 直行 松代小
 - 五学年 佐藤 睦子 室野小
 - 六学年 宮井 和博 蒲生小
 - 六学年 宮沢 利孝 下山分

所得税の確定申告について

昭和五十年分の所得税の確定申
告と納税の相談は二月十六日から
三月十五日までです。なお申告し
なければならぬ人が申告をしな
かったり、誤りのある申告をしな
すと決定や更正が行われます。こ
の場合、追加の税額を納めるだけ
でなく、加算税などを納めなけれ
ばならないこととなりますから、
申告するときには、よく確かめて

申告するときには、よく確かめて
正しい申告をしてください。確定
申告をしなければならぬ通常一
般の場合は、その年中の各種の所
得金額の合計額から、各種の控除
の合計額を差引き、その金額を基
として計算し税額が出る人や、給
与所得者の場合で、給与所得のほ
かに、年額二十万円以上の所得の
ある人、又は二か所以上から給与
を受けている人で、年末調整され
ていない所得が二十万円以上の人
は、申告しなければなりません。
所得税の確定申告書を税務署へ提
出した人は、住民税や事業税の申



新潟県勤労者住宅資金

申込みは昭和51年3月15日迄

県では、昭和50年度の勤労者住宅資金の貸
付けを行なっています。が、資金枠に若干のゆ
とりがあるので、受付期間を延長しました。

- 貸付対象者
自分で住むための住宅を新築、増改築、購
入しようとする勤労者
- 貸付条件
 - 貸付金額……30万円以上100万円きざ
みで150万円まで。
 - 利 率……年 8.0%
 - 償還方法……10年以内の元金均等月賦
償還（ボーナス時増額返済も可能）
 - その他……住宅金融公庫融資の併用可
能
- 取扱金融機関
第四銀行、北越銀行、新潟相互銀行の本支
店。ただし、各行とも融資枠を消化した場
合は、受付を停止します。
くわしくは県商工労働部労政課、労政事務
所（支所）又は取扱金融機関におたずね下
さい。（県商工労働部労政課）

昭和50年の動態

人口 200人 共に減少
世帯 43世帯

松代町部落別住民基本台帳人口・世帯数 51.1.1現在

字名	男	女	計	世帯	50.1.1現在との比較			
					計人口	世帯数	増減	増減
松代	858	873	1731	462	5	5		
小荒	73	77	150	37	3	3		
大平	64	81	145	33	9	2		
菅原	92	98	190	44	5	4		
田丸	69	71	140	32	3			
小池	30	22	52	17	6			
屋之	50	48	98	21	6	1		
下山	72	76	148	31	1			
千代	158	196	354	83	7			
池会	48	47	95	20	4			
会沢	88	93	181	48	1	2		
清水	99	122	221	53	12	2		
桐山	69	69	138	35	9			
蓬平	162	169	331	70	1			
東山	15	20	35	7				
海老	74	64	138	37	7	3		
大谷	172	172	344	86	7			
孟地	56	45	101	27	2	1		
片山	21	16	37	9	6	1		
滝中	41	28	69	19	1			
寺島	15	12	27	8				
野倉	58	58	116	29	10	1		
仙代	112	111	223	55	1	1		
田代	63	73	136	30	4	1		
田代	63	62	125	38	4	1		
あざみ	81	74	155	40	2	1		
小諏	28	24	52	13	3			
訪田	18	22	40	14	5			
名平	95	94	189	50	11			
蒲生	35	34	69	18	4	2		
備前	232	205	437	118	12	3		
福立	182	173	355	85	7	3		
良野	80	80	160	41	1			
室竹	36	36	72	18	6	3		
蘭所	366	403	769	200	27	7		
蘭所	59	62	121	32	3			
蘭所	33	23	56	17	14	4		
木地	125	118	243	55	9			
出原	77	86	163	39	10	2		
計	4069	4137	8206	2071	14	214	5	48
					減△	減△		
					200	43		

昭和五十一年一月一日現在の町の人口・世帯数が別表のとおりです。総人口は八二〇六八・世帯数は二〇七一世帯で、前年同期との比較では人口二〇〇〇人世帯で四三世帯共に減少になり、人口・世帯数の減少は依然として進んでおります。

また、五十年の出生受付、死亡届受理件数は次のとおりでした。

月	死亡件	出生件
1	9	13
2	8	6
3	9	12
4	5	4
5	8	10
6	8	10
7	7	11
8	8	4
9	5	7
10	11	8
11	4	3
12	2	6
計	84	94



みくなの広場

今年辰年、大正月、小正月とも天気が良く雪も少なく、二年続きの大雪と不況を脱出して、竜（タツ）が天に昇る好事の前兆かと思つたのも束の間で、一月十八日から一週間に及ぶ連続豪雪のため交通は完全に麻痺し、松代町は昔ながらの陸の孤島と化してしまいました。

積雪量も、一月二十日現在で平年を五センチメートル以上も上廻って二メートル近くに達し、その後も連日五十センチメートルの降雪が続きました。松代町における最高積雪日は、過去二十五年の平均では、二月二十二日前後となっているので、それまでにはもう一ヶ月近くあるから、今年もどうやら大雪の年となりそうです。

近年異常気象とか、地球が冷え

て寒冷化の方向にあるなどといわれていますが、当地域の積雪量も四十一年以降二、三の例外は別として、めっきり多くなり、雪国としての真録を遺憾なく發揮しています。

昔から「大雪の年は豊作」と言われているので、果してそうだろうかと、昭和二十四年以降五十年までの多雪年（最高積雪量三メートル以上）と少雪年（同二メートル以下）の作柄を調査してみます。

雪と作柄

農業改良普及所 若月佐治郎

と、多雪年はこの間に十カ年、少雪年が六カ年、中間年（ほぼ平均積雪量の年）が十一カ年あり、多雪年の平均収量が十アール当り三百七十八キログラム、少雪年が三百六十六キログラム、中間年が三百三十キログラムとなっています。この数字から見ると、たしかに大雪の年が豊作のように感じられますが、内容を検討してみますと、多雪年は十カ年のうち七年までが昭和四十一年以降であり、この頃は農業技術、とりわけ育苗技術が進み、また田打ち、代掻き作業も耕耘機で短時間に済むようになったため、多雪年でも比較的早植えが出来るようになり、大雪の影響をそれ程受けなくなったためと思われまます。

なお多雪年は概して夏の天候が良いためか病害虫の被害も少なく灌漑水にも心配がないため、稲の生育が順調であったためとも考えられます。

ところでここ二年間県下（全国的にも）各地で豊作が伝えられる中で、当地域だけがあまり振舞なかつたのはなぜでしょうか。

いろいろの要因はあるでしょうが、一番大きな原因はやはり四十八年の大旱ばつの後遺症が残り、水だけが心配で十分な管理が出来ず、水のあるところも深水管理のため穂数（分けつ）不足したものと考えられます。

この地方の故人は「米を作るより水を作れ」と言われたが、所詮稲は水稲と言われるだけに、水の問題が大きく作用するので、今後この地域の増収を図るためには、基盤整備もさることながら、灌漑水施設の整備が先決と思われまます。

辰年は過去の例からは大体豊作で巳年が殆んど凶作のようですが今年も作柄が悪いとなると「う・たつ・が上らず・み（身）が持たない」ことになるので、今年こそ大豊作が迎えられるようお互いがんばりましょう。

長寿者家庭訪問記

長生きの秘訣は？

広報松代の特集号として昭和三十二年頃から毎年一回長寿者番付けを発行して来ましたが、今回は先日発行した番付けの東西横綱を戸籍係長がテープレコーダーをたづさえて訪問し、生活全般について広く聴いてまいりました。テープにはたっぷり一時間収録してありますが、残念ながら紙面の都合で全部掲載することが出来ませんでした。皆様方の健康増進の参考として役立つことが出来れば望外の喜びであります。



東横綱 高橋 仲 蔵

明治拾参年貳月参日生

高橋仲蔵さんは、二月三日に誕生日を迎え満九十六才、大字小池(寺田)二、一一五番地第二で父善三治、母ハツの長男として出生五人兄弟でとりわけ長寿者ではありませんでした。(五十才前後で死亡)しかし母は長寿で、九十三才の生涯を全うしました。

横綱は十五才で寺田の家号本家に作男として十年間つとめられ、その後造り酒屋に出稼をはじめられました。当時身長は五尺、体重十五貫七百の比較的小柄な体格でしたが、怪力の持ち主で前歯で米一俵をつり上げ、背中に二俵背負

って歩くことができたといえます。その頃は、一升餅を平らげ、一升酒も飲まれたことがあるそうですが、平常は偏食せず、腹も身の内と考え、暴飲暴食をさけていました。餅は、好物で朝少し多めに食べて、昼食をぬくという生活も続けたようです。とにかく、働き者で今でもじつとしていることができず、夏場は家のまわりの草とり、冬場はわら細工をきれいに仕上げております。

横綱の性格は、温順でさっぱりしており、くよくよしない朗らかな笑い声につやがあります。これも家のおっかさの明かるくよく気のつく、やさしい性格が横綱の心の支えとして大きなウェイトをしめているようにも見えました。医師も驚くほどの若々しい体と特に心臓の丈夫なことは、折り紙つきといわれたそうです。今後とも体に充分留意され百歳めざして長生きされることをお祈りして訪問記といたします。



西横綱 相 沢 ミ ナ

明治拾五年正月参拾日生

相沢ミナさんは一月三十日に誕生日を迎え満九十四才、大字松代三、五一五番地乙(家号和平次)父樋口惣太郎、母キタの四女として出生、兄妹は五人で、兄国松さんは九十三才の長寿を全うしましたが三人の姉は、いずれも二十才前に死亡しております。

横綱は、二十二才で大字太平(家号はじ)に嫁がれ、戦時中は、三人の息子が次々と出征し、並々ならぬ苦勞をされましたが、幸い三人が無事に復員されてからは、孫の子守りのかたわら、夏は、家のまわりから畑にかけての草とり掃除を一手に引き受け、秋の取り入れ期になりますと、一俵あまりの大豆、小豆をはき場からおろし豆ぶちから、とうみかけ、豆のくず拾いまで家の為に働きました。聴力はやゝ劣ってききましたが、視力は劣えず、今でも眼鏡なしで針に糸を通すことができると言われたのには驚きました。

孫もすっかり成長されましたので、現在は、おうみに専念し、半年間に、かなを六本も仕上げられております。好物は、めん類ですが、量をきめておりますので、食べ過ぎることとはありません。偏食はなく、常に腹八分目をモットーにして暴飲暴食などはしません。

七十才までは、たびたび胃痛に悩まされ、二十日から四十日間ぐらい胃痛を恐れて、なにも食べませんでした。一向に体の劣えが見られず、顔の血色、つやにも変わりなく、さすがに横綱になるだけの体力を有しておられたと思われ

骨格はたくましく、腰もほとんど曲げずに、さっそうと歩く姿は正に横綱の貫録充分といえます。常に笑いの絶えない明かるとい温い家庭の中で相沢ミナさんは、今日もおうみに余念がありません。雪が消えますと草とりの仕事が続いてきます。充分お体に留意され、健康で百歳をめざして生き抜いて下さい。

横綱の相沢ミナさんの御多幸をお祈りしまして訪問記とします。

国民年金受給権者

現況届を忘れずに

国民年金を受けている皆さんへ一月中旬頃「国民年金受給権者現況届」というハガキの入った封筒が社会保険庁から届いたと思います。これを提出しないと六月期以降の年金がもらえなくなり、また出していない方は、大至急役場の戸籍係又は支所で証明してもらって郵便局へ出して下さい。

脳卒中・心臓病の発作予防

―きつかけを作らないように―

一、二月は脳卒中のシーズン、中年以後の死神の王座である、脳出血、脳硬塞、それに心臓病など急に増加します。

脳卒中死亡が結核を抜いて一位になったのが昭和二十六年で、それ以後現在までその王座はゆるがず、心臓病死亡も年々増加の傾向にあります。

松代町の昭和五十年の死亡原因別数は次のとおりです。

死因	数
中病ン衰	23
卒 臓	20
心ガ老	13
死 白	11
感 冒	4
不慮	4
そ	4
計	84

脳卒中や心臓病の多いのがすぐ目につきます。五十才代までに十人、六十才代の人を入れると十九人も死亡しています。

このように働き盛りの人を失うことは家庭的にも社会的にも大きな損失です。

脳卒中や心筋硬塞などの発作は高血圧や動脈硬化があつて、それに、何かの「キッカケ」が加わつた場合起ることは、前にも書きましたが、その「キッカケ」についてももう一度考え「キッカケ」をつくらぬように一人一人が注意しましょう。「キッカケ」について

昭和五十一年度

保育園児募集

二月十六日までに嘱託員へ
松代町立保育園の昭和五十一年度入園児を次により募集します。希望者は申し込んで下さい。

一、保育園別募集数

- 松代保育園 百二十名
- 室野保育園 六十名
- 蒲生保育園 四十名
- 申込み期限 二月十六日までに各部落の囀

少しくわしく説明してみます。

二、心配や興奮など精神的緊張

心配、不安、興奮、イライラなど精神的緊張は血圧を高めます。怒ってカッとなると、ときに血圧は上がります。

中年すぎると、とかく自分の気持ちにそわないことがあるとイライラしがちですが、何事もよくよせず達観して、マイペースで人生を送るよう心がけましょう。

テレビを見ていて興奮し、脳卒中や心臓病の発作を起したという話もききます。

イライラするようなことがあつたら数を数えるとか、深呼吸をするとかで気分を転換させ気持ちを落ち着けることが大切です。

三、急激な温度変化に

体をさらさない

寒さに合うと血圧は上がります。これは、体の熱を外へにがさないために血管がちぢむからです。

片手を冷たい水の中に入れても片方の手で血圧を測ると、人によっては四十も上がるといふ実験結果も出ています。

暖い所から出て急に寒さにならされると血圧はひどく上がります。戸外に出るときは、服装に注意して下さい。

お酒をのんだ時など自分では暖く感じていますが、特に気を付けて下さい。

託員（区長）へ口頭で結構ですから申込んでください。

申込みされた方には後日入園申請書をお届けしますから、二月末日までに申請書を提出していただくこととなります。

入園決定通知

申込児童が各保育園毎の募集人員を超えた場合は、申込みのあった部落の嘱託員による選考会を開いて入園児を決定します。入園決定の通知は三月二十日頃までに出します。

冬の夜中の便所は最も危険です。高血圧や心臓病の人は冬は寝室にシピンを用意すれば理想的です。

三、入浴はぬる目に

ぬるい風呂は血圧を下げます。ぬるい風呂に入って血圧を下げそのまま床に入って眠れば血圧はさらに下ります。風呂の温度は冬は四十一度、夏は三十九度が適当です。また残り長湯もいけません。せいぜい五分十分が限度です。

脱衣所や洗い場が寒いと入浴前後に血圧が上がります。脱衣所を暖くする工夫をし、洗い場は湯気をこもらせておくことも大切です。（以下次号に続く）

戸籍の窓口から

一月受付分（受付順）

おたんじょう
おめでと



おくやみ
（死亡）



- 山岸一則 父新一 長男 浦生 源助 母待子
- 小林信恵 父英章 長女 松代 鐵道公団 母多満子
- 山岸裕子 父悟 長女 蒲生宮の下 母幸子
- 鈴木香織 父昭平 長女 松代たみや 母和子
- 斎藤晃也 父国平 二男 太平 斎藤 母充代
- 高橋将和 父重春 二男 助平ますや 母キヨ子
- 吉村博明 父勝利 二男 松代さとみや方 母春江
- 樋口裕美 父利男 二女 松代大下屋 母武子

人口のうごき		(2月1日現在)	
世帯数	2,072 (+)	1)	
人口男	4,064 (-)	5)	
人口女	4,135 (-)	2)	
計	8,199 (-)	7)	
出生	8	死亡	8
転入	7	転出	14
増計	15	減計	22



儀明老友会

老人クラブの俳句会

儀明老友会（小堺元之真会長）では、話し合い、楽しみの場として孤独の解消をはかり、加えて新しい知識を身につける学習や俳句づくりで、頭の老化を防ごうという事で、毎月一回定例句会を開いています。

既に八集の句集を発行しており、作句の進歩もすばらしく、その一部分をご披露いたします。

なお、この会のご指導は儀明分校の上野先生、句集の発行は会長が筆耕して印刷する等、会員みんなが張り切っていますので今後の発展が楽しみです。

のき下に つるす干柿 冬つげ
 る 植木屋
 しもがれに 姉さ一人で かや
 を刈る 正 雄
 霜の朝 氷をわって 鎌をとぐ 雪 男
 大根の 白さが目だつ こつら
 した 野うさぎ
 初雪に 柿の実一つ 葉三つ
 年のくれ 新巻くばる 郵便屋



「万羽琢也君」

全国大会出場へ

松代中学校スキー部県大会で好成绩

松代中学校スキー部は、一月二十二日、二十三日の二日間にかわたり、小出町須原スキー場で開催された第19回新潟県中学校スキー大会に出場し、地元強豪を降して継走五位に入賞。個人では万羽琢也君が距離三位に入賞するなど好成绩を挙げました。その成績は次のとおりであります。そのほか、五十嵐保君・関谷武久君・市川司

君・柳時夫君・若月等君・関谷稔幸君たちの奮斗によって、県下に松代中学校の風声呼び、意義ある大会出場でした。この結果、万羽琢也君（写真）は県代表として全国大会に出場する事になりました。万羽琢也君（一年）距離三位、関谷浩好君（三年）〃十八位、関谷毅君（二年）回転十九位、団体距離継走 五位

郵便局からのお知らせ

地域の発展と福祉の向上に貢献する簡保積立金 当町の融資現在額 一億二二〇万円

簡易保険のお客様から毎月払い込んでいただいている保険料は積み立てられ、保険金や配当金としてお支払いするまでの間「確実・有利・公共の利益」になるよう運用されています。

この資金は住みよい町づくりを進めるために、みなさんの生活に結びついた、住宅・学校・道路など公共施設の整備拡充に、地方公共団体を通じて融資されています。

なさねばと 開く白紙の初日記 (6)
 正月は 帰らぬ子には 谷 桜
 膳 出稼ぎの 福の神様 里がえり 太 陽
 下 原

しぶみ句会 他石先生選

一月八日 於・ヤマハイ旅館

松の内 過ぎて漸く 初句会
 三ヶ日 快晴は越に めずらしき 淡 水
 三日はやすきて 帰京のつづく村
 鉛筆を 削る音して 事務始 静 風
 初旅に 日本海を 北上す
 風の空 日本海に 広がりぬ 六 花
 初セリを 待つ魚市場大焚火
 気をしめて 立ちし調理場 初日さす
 今朝の雪 南天の美の紅 ゆたか 昌 弘
 積るらし 粉雪カサに 定まらず 悠 歩
 肩くみて 春はく出初 ぐすれかな 枯 水
 年賀して すぐ商談に かりたる 瀬 舟
 伝統を まもりせわしき 寺年始 八千代

昭和51年 年賀はがきお年玉当せん番号
 引き換期間 1月20日～7月19日

1 等	折たたみ式 自 転 車	各組共通	317610
		A 組	088177
2 等	腕 時 計	各組共通	下5けた25807
		A 組	下5けた59570
3 等	封筒とグリーンイン グカードのセット	各組共通	下3けた下3けた 712 442
		各組共通	下2けた下2けた た84た77た40
4 等	お年玉切手シート	各組共通	

!! 1月25日から郵便料金が改定されました!!
 料金はお間違いのないように。